

平成24年度



# 地産地消新ビジネスモデル 支援事業を決定しました!!

## 本年度は4事業を支援対象とします!

横浜市では、農によるまちの活性化と新たなビジネスモデルの構築を目指し、新たに地産地消に貢献する食と農をつなぐ取組をする企業等に対し、助成金により支援を行っています。

2年目となる今年度は、横浜の食材にこだわった新商品の開発・販売や地産地消をコンセプトにした新たな惣菜店の開店、地産地消情報の新たな発信ツールの活用など、4事業への支援が決定しましたので、お知らせします。

### 1 24年度支援事業（6月初旬から各事業とも実施中です）

事業名		イメージ図
申請者	事業内容	
「地場野菜を使った地産地消惣菜店」		
有限会社 ナチュラルレ・ ボーノ (代)植木 真	市内産野菜を中心に「地産地消」「薬膳」をコンセプトにした惣菜店を開店する。 一人暮らしからファミリー層、高齢者を対象に経営するイタリアンレストランで人気の惣菜等を自店、スーパー、小売店等で販売する。	
「横浜市産大麦を使った発泡酒造り」		
鈴木 真也	市内産の大麦を使用し、発泡酒造り・販売を行う。 樽生その他、瓶ビールとして新たに独自の市内産ラベルを作成し、スーパーや土産屋等で広く販売する。	

裏面あり

<p><b>「横濱開港菜等を使用した菓子類の開発及び販路開拓事業」</b></p>		
<p>株式会社 よこはまグリーン ンピース (代) 椿直樹</p>	<p>市内産野菜（開港菜等）を使用した贈答用の焼菓子を開発・製造・販売する。 インターネットや全国百貨店の催事、土産屋、イベント会場などで販売する。</p>	
<p><b>「横濱うお時における地産地消ブランディング化計画 2012」</b></p>		
<p>有限会社 うお時 (代) 渡邊六朗</p>	<p>横浜の食材を使った地産地消弁当にメッセージカードを添え市内産農産物のPRを行う。また、HPやブログ等を活用して直売所や旬の食材を使用したレシピ等、地産地消の情報をリアルタイムに発信する。</p>	

## 2 制度の概要

### (1) 制度

市内の地産地消等に寄与する活動を対象に新商品の開発や販売促進に要する費用など、平成25年3月31日までの事業に対し、1団体あたり100万円を上限に1/2以内の助成をします。

### (2) 選定方法

経営・起業・農業関連等の専門家によって構成された委員による相談会（申請者によるプレゼンテーション発表）の後、審査・選考を行い、対象事業を決定します。

審査は「地産地消への貢献性」「事業性」「革新性」を基準に行います。

経営等について専門家への報告と、アドバイスを受ける機会を設けることにより、継続的な事業推進に役立てていただきます。

## 3 経過

- 募集期間：平成24年3月19日（月）～4月6日（金）
- 相談会および審査・選考：平成24年5月10日（木）
- 対象事業決定：平成24年5月31日（木）
- 応募数：6事業

お問い合わせ先	
環境創造局農業振興課長	杉山 茂久 Tel 045-671-2606